

うるま

市議会 だより

第37号

平成26年(2014)
発行9月15日



「沖縄の伝統、マーラン船がよみがえりました!!」



僕も乗ったよ!! マーラン船乗船体験:8月16日(土)

一般質問(6月定例会)

6月定例会には30名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

誌面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧ください。

目次

一般質問	2
第86回6月定例会議決結果	17
第87回8月臨時会議決結果	17
政務活動費の内訳	18
最低制限価格割合の引き上げを求める要請決議	19
天願川河川改修事業の早期整備に関する意見書	20



一 国民健康保険事業の医療費適正化について
 二 伊波メンサー後継者育成事業の今後の展開について
 三 平敷屋製糖工場跡の保存整備について
 四 津堅島の振興について
 五 コミュニティバス及びデマンド交通サービス実証実験事業について

なかもと ちちお
 仲本 辰雄

一 国民健康保険事業の医療費適正化について

質問 福岡市薬剤師会は平成24年に残薬を入れる節約バッグを無料で配り、薬局に持参された残薬のデータを一九州大学が集計したところ、再利用した薬は約84%で、全国に当てはめると年間約3千3百億円が削減できる計算になった。国保財政赤字削減に資すると考えられる節約バッグ運動に対する見解を伺う。

答弁 島袋市民部長 非常に興味のある運動である。患者の負担も軽減できるものであり、沖縄県都市国保協議会などで、意見を求めていく必要があると考えている。

二 伊波メンサー後継者育成事業の今後の展開について

質問 技術を体得した方々に、収入の道を開き、伝統工芸品を後世に伝えるためには、技術者に生活の糧がないと廃れていくのではないかと危惧している。販路拡大をどう考えるか。

答弁 上間経済部長 貴重な民俗文化財を後世に継承し、発展させていくためには、伝統工芸品としての認知度の向上や、販路の拡大が必要である。

三 平敷屋製糖工場跡の保存整備について

質問 保存整備に向けた進捗状況を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 平成25年9月から11月にかけて、沖縄防衛局と米海軍に対し、国登録文化財、同意に向けた調整を行っている。平成26年2月には文化庁の調査官が現地を視察し、保存に

向けた工法等の意見を伺った。5月には沖縄県教育庁文化財課の担当職員と登録に向けた手続きや、今後のスケジュールについての意見交換をした。6月には地元平敷屋区より国登録に向けた同意を取り付けた。現在、米海軍と調整中で、同意が得られ次第、沖縄県を通して、文化庁へ申請したい。

四 津堅島の振興について

質問 津堅・島おこし支援事業の事業内容。

答弁 喜納企画部長 平成26年度は津堅島ガイドブックの作成、小型焼却炉の整備検討なども含め、地域と連携した環境整備、景観緑化活動の推進を行う予定。

五 コミュニティバス及びデマンド交通サービス実証実験事業について

質問 実証実験の期間と与勝の運行ルートに、平敷屋港旅客待合所が含まれているか。

答弁 喜納企画部長 実証実験事業の期間は10月から12月までの3カ月を計画。具志川・与勝線の運行ルートに平敷屋港旅客待合所を加える。

質問 待合所へのルートを7月から実施できないか。

答弁 喜納企画部長 遅くとも8月までには対応したい。実証実験終了後も運行は継続し、津堅島の住民の利便性を確保したい。

※他に「学校統廃合に伴う跡地利用について」を質問しました。



一 うるま市合併から10年目を迎え、9年間の合併の考察について
 二 うるま市総合計画について

たなか なおとく
 田中 直次

一 うるま市合併から10年目を迎え、9年間の合併の考察について

質問 石川、勝連、与那城庁舎の方向性について伺う。

答弁 天願総務部長 マネジメント計画での市民及び庁内の再利用や有効活用に関する意見等を踏まえ、公募等による民間企業の活用や跡利用の方策をとりまとめた。

質問 移動図書館の実現を。

答弁 赤嶺教育部長 移動図書館導入の必要性の果たす役割は大きい。関係部署と調整を進めたい。

質問 うるま市道徳教育の位置付けと、道徳の教育化について伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 命の大切さを実感するなど、人としてより良い生き方を求め、実践する基盤となる道徳性を養う教育活動として位置付けている。

答弁 謝敷教育長 道徳の時間は人が人として生きる事はどういう事か、教師と子供達が一緒に真剣に考える時間になっていく様、指導助言を進めていきたい。

二 うるま市総合計画について

質問 総合計画について、地方自治法第96条の2(予算について)を使って、議会で議決事件になっているか。うるま市の場合、議会議決

が必要ではないか。

答弁 喜納企画部長 市の重要な計画である基本構想について、議会の議決を得る必要がある。次回の基本構想策定時に、議会に付すべき事件と定める条例を制定し、基本構想を議決案件としたい。

質問 市道改良率72.5%、市道道路舗装率90%残りはどの地域が多いか。

答弁 久田建設部長 現状として、与那城地域の改良率、舗装率が低い。

質問 国際物流拠点としての機能誘致と活用について伺う。

答弁 上間経済部長 中城湾港新港地区に指定されている国際物流拠点産業集積地域の機能充実活用について、同地域には賃貸工場等が整備され、41社の企業が集積。東西埠頭連絡道路の整備、賃貸工場の整備、定期航路の就航を図る事により、同地域の活用促進に繋がる。

質問 基本構想について市長の考え方は。

答弁 島袋市長 中部の中心地として、県内三番目の都市としてのポテンシャルも高まっている。県下ナンバー3の自治体にあわせて、まちづくりの体力づくりに向け、着実な歩みを続けていきたい。



金城 勝正
きんじょう かつまさ

- 一 うるま市宇具志川廻原地内排水路整備に関する事項について
- 二 うるま市国民健康保険特別会計に関連する事項について
- 三 うるま市土地区画整理事業に関連する事項について

一 うるま市宇具志川廻原地内排水路整備に関する事項について

質問 地域農家の生産活動に支障を来す事が無い様に、早急に整備を実施して頂きたいが、今後の対応方について伺う。

答弁 上間経済部長 平成27年度からの事業で取り組み、実施に向けて計画をしていく事から、当面は素掘り排水路の草刈りなどを行い流れを良くし、冠水対策に努め対応していきたい。

二 うるま市国民健康保険特別会計に関連する事項について

質問 沖縄県は前期高齢者が少ない事から、加入割合で算定する同制度は、本件各市の国保財政には不利であるとして、算定方法の見直しを求める様、要請しているが、どう要請しているか。

答弁 島袋市民部長 沖縄県都市国保協議会を通して要請をしている。

質問 今後の要請活動の予定について伺う。

答弁 島袋市民部長 沖縄県都市国民健康保険研究協議会として、沖縄県市町村国保に対する財政支援を求める要望を、8月に開催される県市長会総会へ依頼する予定となっている。その後、市長会から

国への要請行動になるものと考えている。

三 うるま市土地区画整理事業に関する事項について

質問 うるま市で実施される可能性のある地域があるか伺う。

答弁 島袋都市計画部長 現在のところ、与那城屋慶名において、地権者による準備委員会が設立されており、認可に向けて取り組んでいるところである。

質問 地域住民の自発的な計画のもとに、市に対する要請があれば、積極的な対応方をお願いしたい。

答弁 島袋都市計画部長 土地区画整理事業については、事業破たんの可能性も秘めている事であり、事業経営という視点もかなり重要である。特に保留地の価格、面積、売却方法等の資金計画を中心とした事業計画が成立するものでなければならぬと考えている。

特に公金の助成については、事業の成立や継続性など慎重に検討する必要があるので、一方で土地区画整理事業は良好な住環境の整備という目的もあるので、議員ご提言のとおり地域住民の自発的、主体的な取り組みによる計画については、積極的に支援していきたいと考えている。



平 正盛
たいら まさもり

- 一 土木関係について
- 二 経済関係について
- 三 企画関係について

一 土木関係について

質問 県道10号線(宮城島地域)について。

答弁 久田建設部長 伊計平良川線の宮城島地区は、桃原から池味までの延長4千3百メートルで、標準幅員が10・5メートルの片側歩道で、桃原橋の橋梁架け替えや上原方面から的一方通行下り側となっており、橋梁の設置は平成27年度完了。

質問 宮城島地域の全工事が完了する年度の目安はいつ頃になるか。

答弁 久田建設部長 平成33年度が完了年度になると思う。

質問 池味のトンナハビーチ護岸の決壊の件について伺う。

答弁 上間経済部長 全体で160メートルに及ぶ事から、3年の工期に分けて執行する計画である。

質問 伊計島の第二栈橋について、防波堤の付け根から海側へ高波防止の消波ブロック等の整備が出来ないか伺う。

答弁 久田建設部長 海岸事業での整備として出来ないか、調整を図りながら整備要望をしていきたい。

質問 県管轄の「天願川」と本市管轄の「野鳥の森公園」の件について、展望台から天願川下流に向けての歩道新設は出来ないか。

答弁 島袋都市計画部長 野鳥の森公園と天願川の遊歩道を連結した一体的な利用が図られる様、検討していきたい。

二 経済関係について

質問 伊計島や宮城島等でもイモゾウムシ等の害虫根絶対策する計画はあるか。

答弁 上間経済部長 県へ確認、今後国と協議していきたいとの事。

三 企画関係について

質問 島しょ地域振興として、地域の特性や資源を生かした地域づくりを進める為に、行政として、どの様な計画・検討をしてきたか伺う。

答弁 喜納企画部長 現在、辺地債を活用した道路整備に取り組んでいる。今後は民泊の推進やガイドブックの作製に取り組んでいく。

伊計島ではスマートプロジェクトの実施。また島のホテルとも連携した地域振興に取り組んでいく。宮城島では辺地債を活用した生活道路の整備。平安座では道路排水路の整備計画。浜比嘉島、海中道路のライトアップについては年度末には完成する計画である。

質問 「県内企業売上ランキング」について、上位100社と言う事で、新聞に載っているが、うるま市が100社以内に入っていない事について伺う。

答弁 上間経済部長 うるま市を本社とする企業が無い為、記載は無かった。

※他に「都市計画関係について」、「総務関係について」を質問しました。



- 一 道路行政について
- 二 下水道行政について
- 三 公共施設について
- 四 本市の国家戦略特区の位置づけについて

名嘉山 隆 (な か やま たかし)

一 道路行政について

① 栄野比地区(栄野比124番地、201-2番地)の道路整備について

質問 地権者の同意も得られており、平成27年度事業計画へ提案可能か伺う。

答弁 久田建設部長 現状の道路幅員では、緊急車両等の通行や歩行者の安全通行に支障がある。平成27年度の実設計へ引き続き要望する。

② 国道329号からいずみ病院へ抜ける道の一部の道路整備について

質問 現状と今後について伺う。

答弁 久田建設部長 現在、所有権移転の登記申請中。この整備は今年度で地籍境界ブロックとアスファルト舗装を予定。当面は、土のう等で道路に赤土の流出が起らない様な対策を講じる。

③ 市道1003号線栄野比366番地前道路の排水路整備事業について

質問 現状と今後について伺う。

二 下水道行政について

質問 現在、栄野比地区内で下水道整備事業を進めている場所と進捗状況を伺う。

答弁 三浦水道部長 平成25年度事業は県道8号線沿い字栄野比93-6番地先の道路、天願川沿い、市道202号線までの2.08ヘクタールを平成26年4月末に完了。進捗状況は計画面積157.7ヘクタールに対し、完了面積13.51ヘクタールで、整備率が23%である。

質問 運用開始の時期を伺う。

答弁 三浦水道部長

平成27年4月以降である。

質問 ポンプ等から派生する騒音は、地域住民への影響を与えるか。

答弁 三浦水道部長 マンホール形式ポンプ場は、埋設型で騒音等は派生しないと考える。地域住民への影響はない。

三 公共施設について

質問 うるま市でネーミングライツの導入をしている施設はあるか。

答弁 天願総務部長 公共施設等でネーミングライツの導入は、現在はない。

質問 うるま市が積極的に命名権を活用する推進事業の考え方は。

答弁 天願総務部長 これからの公共施設の健全、安全な維持管理及び財源の確保の観点から有効な事業と考える。今後各施設の管理担当課と連携を図り検討する。

四 本市の国家戦略特区の位置づけについて

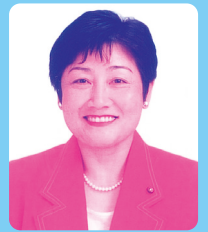
質問 当市から県のアイデア募集についての応募は行ったか。

答弁 喜納企画部長 県は5月末までの期限で国家戦略特区において活用できる規制緩和メニューについて、アイデアを募集したが、本市から応募はしていない。

質問 うるま市としてどのような考えを保持しているか。

答弁 喜納企画部長 沖縄科学技術大学院大学に近いという本市の地理的優位性もあり、本市で取り組む事業がなにか、関係部署や関係機関と連携をしていきたい。

※他に「当市と中部各市町村との関わり方について」を質問しました。



- 一 うるま市公共施設等マネジメント計画から・与那城地区公民館の方向性について
- 二 「海から豚がやってきた」七人の勇士の石碑建立について
- 三 安心・安全なまちづくりについて
- 四 平和学習について
- 五 通学路の安全対策について
- 六 保育料の助成について
- 七 市営住宅の同居募集と維持・管理について
- 八 トンナハビーチの護岸決壊について

比嘉 敦子 (ひが あつこ)

一 うるま市公共施設等マネジメント計画から、与那城地区公民館の方向性について

質問 うるま市公共施設等マネジメント計画から、与那城地区公民館の現状と本計画について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 登録サークル20団体の活動拠点となっており年間延べ3万人を超える利用者がある。今後は施設機能の現況を把握すると共に、マネジメント担当部署と連携、検討を行い、将来を見据えた実効性のある判断をしていく。

二 「海から豚がやってきた」七人の勇士の石碑建立について

質問 石碑建立の進捗状況について伺う。

答弁 喜納企画部長 平成27年度中の着工に向け、記念碑建立設置検討委員会が7月に開催される。

三 安心・安全なまちづくりについて

質問 うるま市州崎への防犯カメラ設置について伺う。

答弁 上間経済部長 沖縄県土木建築部は県の9月補正予算への計上を検討しているとの報告があった。

四 平和学習について

質問 市内小中学校の県平和祈念資料館の活用について。平和月間を制定し、平和学習を行っている市町村は。

答弁 喜納企画部長 平和の碑及び平和月間を制定し、平和学習を行っているのは、県内では沖縄市、南城市、南風原町、西原町、北谷町、与那原町となっている。

答弁 嘉手苅指導部長 県平和祈念資料館を活用している市内小学校は平成25年度18校中9校、中学校10校中3校で、

今年度は小学校9校、中学校4校である。

五 通学路の安全対策について

質問 その後の整備状況を伺う。

答弁 久田建設部長 通学路で歩道のない場所にガードレール設置の必要な箇所4カ所の内、2カ所は設置済。路側帯のカラー舗装等6カ所の内、2カ所実施済である。

六 保育料の助成について

質問 子育て支援の観点から、認可外の保育園児にも保育料が軽減されるべきだと考えるが。

答弁 山城福祉部長 保育園を運営する為、本市が補てんした金額1億6千23万5千円。保育料軽減については、関係部署と調整を図り検討していきたい。

七 市営住宅の同居募集と維持・管理について

質問 母子家庭等の優遇措置について伺う。

答弁 久田建設部長 優遇措置の対象者は母子父子家庭、障がい者、生活保護者、高齢者及び公共工事立ち退き者、海外引揚者、ハンセン病療養者、多子世帯の方々。入居したい時期や空き家が生ずるタイミングが一致しない事もあり、優先入居出来ない状況がある。

八 トンナハビーチの護岸決壊について

質問 以前の一般質問では県の部署での調整との答弁であったが、その後はどうなっているか。

答弁 上間経済部長 今年度工事に着手する事になっている。



まつだ ひろゆき
松田 久男

- 一 窓口業務の改善について
- 二 デマンド交通システムについて
- 三 石川多目的運動場の整備について

一 窓口業務の改善について

質問 統合庁舎建設後の窓口の機能はどの程度まで行えるか。

答弁 天願総務部長 現状の窓口業務を継承する予定である。

質問 市民サービスの向上につながるよう支所機能に関してより一層強化してもらいたい。以前視察した富山県南砺市では支所において戸籍、住民票、国保、年金、後期高齢者医療、福祉、さらに上下水道、市道農道の修繕要望、農地関係、環境衛生、ゴミ、火葬、防犯、犬の登録、消費生活相談、交通安全、市営バスに関する事など、たくさんの業務を行っている。

私の希望はこれと同程度、あるいはもっとできればなお良い。所見を伺う。

答弁 天願総務部長 現状の窓口業務継承を前提に進めていく。ご理解願いたい。

質問 支所にはコールセンター的な機能を研究してほしい。

答弁 天願総務部長 コールセンター機能は今後研究していきたい。

質問 高額療養費請求手続きを各庁舎で本庁と同じように受け付けてもらいたい。

答弁 天願総務部長 現在は曜日指定しているが、指定日以外でも可能な様、早急の実施していきたい。

質問 一 デマンド交通システムについて
うるま市新公共交通システム実

証実験があるが、デマンド交通実証実験の予定はあるか。

答弁 喜納企画部長 デマンド交通は予定していない。

質問 私達が視察した静岡県富士宮市では、市営バスとデマンド交通システムが成功している。市営バスではバス停の名前を売るだけではなくバス停そのものを、提供した病院とか商店の前へ持つてくることで効果を出している。うるま市が以前に試算し断念したコミュニティバスの負担予想はいくらであったか。また逆にどのくらいの負担だったら運営できると考えているか。

答弁 喜納企画部長 当時はバス購入費として1億3千6百万円、運行委託費が1億円で断念した。今回の実験の負担見込みは年間約2千4百28万円を見込んでいる。

三 石川多目的運動場の整備について

質問 石川多目的グラウンドはインターハイの時にサッカーの会場となり野球場を1つ潰したが、その状態が続いている。大会を開くのに球場が2面必要なので復旧できないか。

答弁 赤嶺教育部長 施設の有効利用に向けて早急に復旧できるようにしたい。

質問 具体的な時期はいつごろか。
答弁 赤嶺教育部長 次年度以降となる。



ひがしはまみつお
東浜 光雄

- 一 「障害者優先調達推進法」について
- 二 防災対策について
- 三 うるま市公共施設等マネジメント計画について

一 「障害者優先調達推進法」について

質問 障害者優先調達推進法の目的は、本市において障がい者雇用を支援する仕組みを整える事、障がい者の就業する施設の仕事を確保し、経営基盤を強化していく事である。本市の担当窓口で、関係部局と連携を図り、調達方針がしっかり推進していかれる様、支援体制の整備を行っていかれる様と考えるが。

答弁 山城福祉部長 担当窓口の障がい福祉課が主体となり、障がい者就業施設等から物品や役務を調達できる様、また関係部局とも連携を図り、障がい者の自立、雇用の拡大に繋がる様、組織全体で推進に取り組みたい。

二 防災対策について

質問 「沖繩本島南島沖3カ所を震源とする地震が連動した場合、最大規模はマグニチュード9.0、死者1万1千3百40人、負傷者11万6千4百15人、建物全壊5万8千3百46棟となる」と沖繩県が今年5月30日に発表した地震・津波の被害想定であるが、その被害想定を見れば、本市の防災計画の見直しが必要になると考えるが。

答弁 天願総務部長 本市の地域防災計画は平成25年度に修正業務に着手。この間に災害対策基本法改正や国の防災基本計画、県の地域防災計画の見直し等が行われ、その内容を反映さ

れる必要があるとの判断により、平成26年度に繰越、現在、計画案の最終確認を行っている。

三 うるま市公共施設等マネジメント計画について

質問 公共施設等マネジメント計画では、勝連庁舎周辺の公共施設の殆どが10年、15年で無くなるとの不安がある。公共施設は市域全体に均衡に配置が基本と考えるが。

答弁 天願総務部長 計画を進めるに当たり、本計画に基づき施設の廃止、転換等の再編を行う際、施設所管担当課で老朽化等を総合的に判断、マネジメント推進担当と協議し、地域住民や利用者の理解を得ながら計画の進捗を図る事が基本である。

質問 計画では導入する機能と施設に対し、施設の処分が行われる事になっており、整合性に欠けるとする見解を伺う。

答弁 天願総務部長 マネジメント計画の見直しは10年毎に行うとし、その時点で社会情勢や地域の環境にも十分に配慮し、施設の延命化や複合施設の可能性等も視野に入れ、地域住民の意見も参考にして、健全な財政を維持しつつ計画を進めていく。

※他に「沖繩県警派遣職員（警察官）の派遣協定について」質問しました。



七六五四三二一

排水整備について
海岸側の安全対策について
農業政策について
下水道整備について
経済政策について
うるま市の観光行政について
学校整備について

しまぶくろ
島袋 行正
こうせい

一 排水整備について

質問 勝連南風原1452番地の前の道路と排水路整備を実施出来ないか。

答弁 久田建設部長 この道路は市道認定されておらず、里道の為、生活道路として利用されている事から、路盤材を敷きならす整備を行い、また排水路は破損個所の補修及び雑草の除去を行っていききたい。

二 海岸側の安全対策について

質問 中城湾埋立地域の海岸側の安全対策の実施について伺う。

答弁 久田建設部長 転落防止の為にロープの設置、立て看板等での注意喚起を行っている。早急な安全対策を施す様、県に要請していききたい。

三 農業政策について

質問 本市の耕作放棄地対策と農業委員会との関わり方は。

答弁 上岡経済部長 平成21年1月11日、うるま市地域耕作放棄地対策協議会を立ち上げ、そこで耕作放棄地再生利用交付金を活用した放棄地対策に取り組んでいる。

四 下水道整備について

質問 本市の下水道整備の現状は。

答弁 三浦水道部長 石川処理区は、

平成25年度末の整備率96.3%。流域関連処理区は74.9%の整備率である。

質問 (事業認可区域内の下水道整備構想の中に南風原地域の集落も含まれるのか。

答弁 三浦水道部長 南風原地域の集落は、同構想の中では集落形成区域が含まれている。

五 経済政策について

質問 農水産業振興戦略拠点施設整備事業指定管理及び運営方法について市の考え方を伺う。

答弁 上岡経済部長 市としては指定管理制度活用した民間及び団体による運営方式で、公募を前提としたものとして位置付け、行っていく考えである。

六 うるま市の観光行政について

質問 海中道路のライトアップ事業内容と予算は。

答弁 喜納企画部長 一括交付金事業として取り組み、平安座海中道路大橋の主塔及び欄干を、LEDフルカラー照明器具による季節やイベント等に合わせた演出照明を行う。予算は2億9千7百88万9千円である。

七 学校整備について

質問 南風幼稚園に滑り台とブランコの遊具設置を。

答弁 嘉手刈指導部長 実態調査を行い、関係部署と協議し、設置の方向で検討していききたい。

一 無料学習支援について

質問 前定例会にて貧困の連鎖を断切る観点から無料学習塾等の支援を提言した。今後の取組みを伺う。

答弁 山城福祉部長 支援内容や実施時期について現在情報収集を行う等、事業内容を検討している。

二 公園整備について

質問 勝連地区の公園の現状がとも子育て世帯が楽しく集える場所ではない状況から、新規公園整備や既存公園遊具の更新など強く訴えてきた。今回、補正の8百万円を含め公園施設長寿命化対策支援事業として3千500万円の予算計上がなされ喜んでいて。整備計画を伺う。

三 学校施設の屋外トイレ整備について

質問 勝連小学校を例に挙げ必要性を訴えてきた。その必要性は当局も認めている。簡易トイレでもよい、確実な整備を望むが考えを伺う。

四 障害者に優しい歩道整備について

質問 平成23年9月定例会にて市道、県道、国道の歩道に視覚障害者用誘導ブロックが整備されているが数カ所で道幅に合わない理不尽な設置があると指摘した。特に石川白浜地区329号歩道中央には電柱があり通行の妨げとなり誘導ブロックがジグザグに配置され早急な改善が必要と強く訴えてきた。また県道75号線安慶名交差点及びうるまみん前も改善をお願いしたが。

答弁 久田建設部長 現在、電線類は地中化に向け撤去され、電柱は7月までに撤去予定でその後速やかに視覚障害者用誘導ブロックの改修を行う予定。



七六五四三二一

無料学習支援について
公園整備について
学校施設の屋外トイレ整備について
障害者に優しい歩道整備について
浜比嘉地区の災害時避難通路及び避難所整備について
各地域の危険個所改善状況について
子ども医療費の助成拡充について

しまじょう
下門 勝
まさる

答弁 島袋都市計画部長 県道75号線及びうるまみん前の車止め等の指摘された危険個所は再設置工事を行い改善した。

五 浜比嘉地区の災害時避難通路及び避難所整備について

質問 浜、比嘉地区の避難所と備蓄の取組みを伺う。

答弁 天願総務部長 防災倉庫整備事業で旧比嘉小学校付近の配水池、駐車場に毛布、簡易トイレやテント食糧、飲料水などを備蓄した倉庫を設置する。

六 各地域の危険個所改善状況について

質問 危険個所の改善状況を伺う。

答弁 久田建設部長 建設部関連は約37%の改善率。今後は優先順位をつけ年次的に対応していききたい。

七 子ども医療費の助成拡充について

質問 子ども医療費助成制度の通院対象を全国並みの中学卒業までに拡大する事が強く望まれているが。

答弁 山城福祉部長 早目に実現出来るよう努めて参りたい。

※その他「あやし」マラソンスタート時の安全対策として「競技場」入口の拡幅や「スタート地点の変更」について、「勝連2.52号線の開通」八号線への取り付け時期、マンホール突起の整備について、「海中道路入口付近の悪臭対策」について、「浜比嘉島の塩工房付近農道4108号」の整備について、「重度身体障害者(児)医療助成事業」などの自動償還払い方式の導入について、「公共施設マネジメント計画」について、「消防派遣型救急ワークステーション」について、質問致しました。



伊波良紀

一 防災行政について
二 交通政策について

一 防災行政について

質問 国ではこれまでの防災計画が見直されているが、本市の防災計画はどのように見直しがあったのか伺う。

答弁 天願総務部長 国の防災基本計画の修正に伴い、市の防災計画に反映すべく修正業務を今年度に繰り越して対応しており、現在、計画素案の最終確認を行っている。

質問 津波災害に対する避難訓練の方法や避難誘導経路について伺う。

答弁 天願総務部長 今後は実践的な訓練の実施を検討する必要がある。避難誘導経路は自治会や自主防災組織と連携した取り組みを検討している。

質問 地域で支え助け合う仕組みの構築が必要と思うが。

答弁 天願総務部長 議員指摘のとおり、地域で支え合う仕組みが必要と考える。市では防災資機材等の助成等の支援を行っている。

質問 要援護者の救助体制について伺う。

答弁 天願総務部長 自主防災組織等と連携し、地域で支援する仕組みの構築が必要と考える。

質問 アレルギー対応食品のあり方を伺う。

答弁 天願総務部長 企業、事業所との協定による流通備蓄からの調達体制を含めたあり方等を検討していく。
質問 乳アレルギー対応の粉ミルクとアルファ米の市の現状を伺う。
答弁 天願総務部長 粉ミルクは賞

味期間が短いため備蓄が進んでいない。アルファ米は備蓄の数量や種類を検討していきたい。

質問 離乳食や高齢者の嚥下食の対応を伺う。

答弁 天願総務部長 離乳食は今後検討したい。嚥下食は数や種類を充実させたい。

二 交通政策について

質問 公共交通空白地域の位置づけと根拠、また実証運行の内容を伺う。

答弁 喜納企画部長 民間バス路線のバス停から3百メートル以上離れている地域を公共交通空白地域としている。現在、調査事業では山城地区や石川西地区、昆布地区、天願地区、宇堅地区を空白地域と位置づけ、各地区公民館等の公共施設周辺を停車ポイントとして想定し運行ルートを模索している。

質問 フリー乗降制度を本島側でも実施できないか。

答弁 喜納企画部長 民間バス事業者やタクシー事業者との競争を避けるため乗降場所を限定する必要はある。

質問 高齢者や障がい者などの交通弱者に対する交通サービスの対策を伺う。

答弁 喜納企画部長 今後は高齢者や障がい者のための福祉的なデマンド型交通サービスの充実を図る必要があり、担当部署と調整し検討していく。



名嘉眞 宜徳

一 県知事選挙に臨む市長の姿勢について
二 うるま市コミュニティバス及びデマンド交通サービス実証実験事業について
三 ホワイトビーチへの原子力潜水艦の寄港について
四 東海岸開発基本計画について

一 県知事選挙に臨む市長の姿勢について

質問 新聞報道で保守系市長の有志で仲井眞知事の激励会を開催し、その一人として島袋市長の名前があったが事実関係を確認したい。

答弁 島袋市長 新聞報道のとおりである。

質問 激励会開催の経緯と目的を伺う。

答弁 島袋市長 これまでの仲井眞知事の実績を高く評価しており、特に一括交付金に対して各自治体が評価しているところであり、知事の慰労激励会の話がまとまり、激励会開催となった。

質問 呼びかけ人の一人となった経緯を伺う。

答弁 島袋市長 呼びかけ人になって頂きたいとこのことがあり快諾した。

質問 経済振興などの実績を評価しての激励会ということであるならば、なぜ翁長市長をあえて外したのか伺う。

答弁 島袋市長 非公式な会合であったので、こういう呼びかけになっていったのか私の意に介するところではない。

質問 知事選挙に仲井眞知事が三選を目指して出馬した場合、支援すると確認したとの報道の事実を伺う。

答弁 島袋市長 その日、私は出席相ならず、新聞報道で私も知った限りのことなので、答弁できない。

質問 なぜ議長が代理出席したのか経緯を伺う。

答弁 島袋市長 うるま市の議長にも

賛同者としての声がかかったものと理解している。

質問 議長は議会の代表であって、市長の名代となることにはいささか問題があると思うが、説明を求めます。

答弁 島袋市長 非公式の集まりであり、行政機関を代表しての集まりではない。

二 うるま市コミュニティバス及びデマンド交通サービス実証実験事業について

質問 事業の内容と計画、空白地域の運行について伺う。

答弁 喜納企画部長 新たな公共交通サービスは、既存の庁舎間連絡バスを公共施設間連絡バスとして位置づけ、公共交通空白地域と公共施設等を結ぶ路線を実証運行していく予定。現行の空白地域を解消する。停車ポイントは具志川・石川線で山城公民館、昆布公園付近、天願公民館付近等を想定している。

三 ホワイトビーチへの原子力潜水艦の寄港について

質問 国への要請について伺う。

答弁 喜納企画部長 今後も引き続き議会等の連携も図りながら、原子力潜水艦の寄港中止と国の積極的な財政支援について要望していく。

四 東海岸開発基本計画について

質問 見直しができないか伺う。

答弁 喜納企画部長 同計画については、引き続き地域の理解を求めながら取り組んでいく。



一 塩屋区の公園整備について
 二 中城湾護岸工事の進捗状況と外来種対策について
 三 市民の健康増進について
 四 山城茶の現状認識と支援策について
 五 海洋レジャーとダイビングの可能性について
 六 田仲 康和

一 塩屋区の公園整備について

質問 公園整備の経緯について。

答弁 島袋都市計画部長 平成16年10月と平成21年7月に公園整備要請があり、本議会でも度々提案されている。

質問 現状と公園整備計画は。

答弁 島袋都市計画部長 塩田公園にかわる公園がなく、配置バランス等を検証し公園整備プログラムに組み込みたい。

二 中城湾護岸工事の進捗状況と外来種対策について

質問 進捗状況と完成年度は。

答弁 久田建設部長 進捗率が約61%で平成29年度完了予定である。

質問 川田区護岸工事について。

答弁 久田建設部長 平成26年度に予備調査を行う。

質問 台湾スジオウとヒルギダマシの異常繁殖が心配されているが、今後の対策を伺う。

答弁 島袋市民部長 沖縄県に対し周辺環境の整備を要請し、地元自治会の協力を得ながら外来種対策に取り組みたい。

答弁 久田建設部長 ヒルギダマシの駆除については、今年度干潟に重機を入れて試験的に駆除を行う予定である。

三 市民の健康増進について

質問 特定健診受診率は。

答弁 島袋市民部長 県内41市町村中40位で、肥満率も県内11市の中で男性が2位で女性が1位である。また早世65歳未満の死亡の割合は全国で最も早世な沖縄県を上回っている状況である。

四 山城茶の現状認識と支援策について

質問 現状認識は。

答弁 上間経済部長 平成16年には

8トンあったが、平成25年には2トン7百キログラムまで落ち込んでいる。工場に関しては老朽化した機械を使用しており、いつ故障してもおかしくない状態。販売面に関しては需要が多く生産が追い付かない状況である。

質問 今後の支援策は。

答弁 上間経済部長 山城茶業組合から要望のある支援策について市もバックアップ体制を取り補助事業を調査検討したい。

五 民泊事業について

質問 市としてどう取り組んでいくか。

答弁 上間経済部長 仮称民泊推進連絡協議会を立ち上げ、受け入れ態勢の共有化や安全を確保する為のルール作り、受け入れ窓口の機能も協議会に構築していきたい。

質問 簡易宿泊所の申請と費用、遊泳を認めるかについて。

答弁 上間経済部長 必要な場合は申請を手助けするコーディネートターの配置や資金融通の仕組みを準備し、海水浴については関係者が相談し民泊家庭任せにならない様対応する事が必要である。

六 海洋レジャーとダイビングの可能性について

質問 海洋レジャーやダイビングの可能性を伺う。

答弁 上間経済部長 風光明媚な景観を有し、年間を通じてウインドサーフィンやカイトサーフィンが楽しめる県内屈指の場所である。ダイビングは津堅島や浮き原島周辺にポイントが存在する。



一 高齢者福祉について
 二 健康長寿について
 三 道路整備事業について
 宮里 朝盛

一 高齢者福祉について

質問 本市の高齢化の現状と養護老人ホームについて伺う。

答弁 山城福祉部長 平成25年度は高齢者人口2万2千14人、高齢者単身世帯5千34戸、高齢者世帯3千23戸である。養護老人ホームについて、本市には沖縄県社会福祉事業団具志川厚生園があり、養護老人ホームに係る入所措置の要否は、うるま市老人ホーム入所判定委員会において、うるま市老人ホーム入所措置等に関する規則第2条の老人ホーム入所基準に基づき要否を判定しており、平成25年度の養護老人ホームの措置者は11人である。

質問 措置費について伺う。

答弁 山城福祉部長 老人福祉法第28条において、負担能力に応じて当該措置に要する費用の全部または一部を徴収することが出来るとなっている。国は平成17年度以降、措置費に係る国庫負担金が廃止され、地方交付税の算定対象となっていない。

質問 市町村が入所控えていると新聞報道があったが。

答弁 山城福祉部長 うるま市老人ホーム入所措置等に関する規則に則り適切に対応し、財源確保にも努めたい。

二 健康長寿について

質問 健康長寿復活（長寿県日本一）に向けた県と本市の取り組み状況について伺う。

答弁 島袋市民部長 市の健康増進計画である、健康うるま21を推進する事が長寿復活に向けた取り組みと考える。健康うるま21は、①健康寿命の延伸、②早世の減少、③健康で生き生き過ごせる人の増加を目標に掲げている。地域の関係機関と連携し、市民一人一人が自分の健康は自分でつくるという意識をもって健康づくりに参加してもらい、市民に広く親しまれる健康づくり標語の募集、健康づくり推進大会の開催を企画している。

三 道路整備事業について

質問 県道224号線（喜仲〜上江洲）の進捗状況について伺う。

答弁 久田建設部長 事業概要は、整備延長810m、事業期間が平成24年度から平成28年度、全体事業費は7億円。進捗状況は、平成25年度において文筆測量及び物件補償調査を行い、整備に係る買収用地75筆、物件補償55件となっている。用地買収は平成26年度予定で、喜屋武マップ公園側から進めていき、用地買収を終えた箇所から順次工事に着手する計画となっている。



- 一 道路行政について
- 二 土木行政について
- 三 教育行政について

喜屋武 正伸
きやん しょうしん

一 道路行政について

質問 県道85号線(前原)交差点の改良及び信号機設置の要請について伺う。

答弁 島袋市民部長 前原自治会より要請を受け、時差信号機での対応をうるま署へ進達している。

答弁 久田建設部長 市としても右折専用車線の設置及び高木、雑草等の管理について要請をしていきたい。

質問 県道85号線の見通しが悪い法面のコンクリート張りの要請について伺う。

答弁 久田建設部長 コンクリート張りなどを中部土木事務所へ強く要請していきたい。

質問 県道85号線と県道36号線の交差する交差点の冠水対策について伺う。

答弁 久田建設部長 大雨時には上流側のメイクマン方面からの雨水が集水桝へ合流する為冠水していると思われる。以前にも改修工事が行われたが、まだ十分ではなく、管理者に強く排水対策の処理を要請していきたい。

質問 市道220号線(前原地内)の未舗装部分のアスファルト要請について伺う。

答弁 久田建設部長 平成27年度以降、道路利用状況を踏まえ、アスファルト舗装を検討していきたい。

二 土木行政について

質問 塩屋354番地付近の排水路の

整備について伺う。

答弁 久田建設部長 早急に対策を講ずる必要があるが、市道にグレーチング側溝を布設し下流の排水路まで雨水を導く対応をしたい。

三 教育行政について

質問 学校適正配置後期実施計画の川田区への住民意見交換会の内容について伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 川田区全域を調整区域とし、保護者が希望すれば南原小を選択出来る様に検討する必要がある事を説明した。

質問 参加者の要望、意見等について伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 通学区の見直しに対し、川田区では反対の意向がある事。通学区の弾力化についても、子供会や地域の行事がばらばらになる懸念などの意見があった。

質問 地域子供会の果たす役割をどの様に認識しているか伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 子供会の活動は地域自治会ごとに活動が継続できるものと考えている。通学区の見直しと弾力化については、今後も地域と調整を行い、地域の意向を尊重した取り組みを進めたいと考えている。

※他に「観光景観形成事業」について質問しました。



- 一 嘉手納飛行場に関する4自治体連絡協議会の設立の取り組みについて
- 二 照間ビッグ活性化プロジェクト事業について
- 三 起業誘致推進委託事業について

照屋 義正
てるや よしまさ

一 嘉手納飛行場に関する4自治体連絡協議会の設立の取り組みについて

質問 嘉手納、北谷、沖繩市三連協として結成されており、本市も含め四連協として取り組むべきではないか。オスプレイの配備を前に沖繩防衛局は三連協に説明されているが、本市には来ない。三連協と本市におけるジェット機墜落事故の内容について伺う。

答弁 喜納企画部長 三連協では墜落2回、死亡者3名、負傷者24名。本市は墜落3回、死亡者22名、負傷者219名となっている。

質問 そうい実情の中、わが国で一番基地被害が多く、一番危険なのは本市であるとの気球を揚げたらと提案してきた。議会としても対応していかないと考えている。国に対して市長のこれまでの取り組みと決意について伺う。

答弁 島袋市長 執行部と議会が両輪に例えられ、首長のみならず議会同士の地域の課題を共有する認識と機運の高め方も必要と思っている。これは大事な事なので、次の機会、中部市町村会の中で取り上げて、各関係市長、町長の皆様と意見交換をしていきたいと思っ

二 照間ビッグ活性化プロジェクト事業

質問 ①ゼロメートル地帯の田畑の解消について。②中央農道整備事業について。③農村観光景観づくりについて。

答弁 上間経済部長 ①ゼロメートルの解消については、平成27年度から農業基盤整備促進事業を導入し、与勝地下ダムを水源としたかんがい排水施設整備と併せて、客土による水田の嵩上げと排水路工事を計画している。②中央農道については、管理用道路の整備が可能と伺っているので、今後事業採択後の実施計画において、可能な限り地元の方々の意見も取り入れて、整備が行われればと考えている。③照間地区は海岸整備構想もあり、水田地域も魅力的な田園風景の創出の可能性を秘めており、本市の貴重な観光資源となると考えている。

三 起業誘致推進委託事業について

質問 事業の内容、失業率の改善、目標数値について伺う。

答弁 上間経済部長 市内に企業誘致を図る為、関東地区、中京関西地区に企業誘致推進員2名を配置し、企業誘致活動を活性化する事により、更なる産業の集積を図り、雇用の確保と地域経済の振興に資する事を目的としている。2010年と比較して就業者7千4百人を目安とする。

※他に「中城新港地区物流支援事業について」、「クリーン・グリーン・グレイシャス(CGG)の復活について」を質問しました。



一 戦没者の刻銘について
二 建築確認について

いしかわ しんぺい
石川 眞永

一 戦没者の刻銘について

質問 1950年代に建設された石川の聖魂の塔に戦没者の刻銘がなく、遺族会から刻銘板の設置要望がある。また聖魂の塔の基礎部分に亀裂が見られ、表示された字が読みにくく、補修の計画があるか伺う。

答弁 島袋市民部長 うるま市所有の戦没者慰霊の塔として、旧石川市の聖魂の塔、旧具志川市の慰霊の塔が引き継がれている。市内には自治会や遺族会で独自に建立された慰霊碑や塔が多数あり、市としては塔への刻銘、または刻銘板を設置する予定はない。ご指摘の聖魂の塔の亀裂を確認しており、今後亀裂の状況を見極めて、遺族会と協議しながら補修の検討をしたい。

質問 金武町で出来て、なぜうるま市では出来ないのか。一括交付金が駄目であれば、その他の活用資金がないか伺う。

答弁 島袋市民部長 市内に39カ所の慰霊の塔があり、それを1つにまとめる事であれば、一括交付金やその補助金等を使えると思うが、37カ所の慰霊の塔をまとめる事が出来るか、各自治会への調査研究をしてきたい。

二 建築確認について

質問 石川ダムの西側にレストランの表示がされている。谷間みたいな状況下の場所で、ダムの水位の上の方にある。そのレストランがいつ建築確認を受け、また排水はどの様になっているか伺う。

答弁 島袋都市計画部長 調査したところ、申請されていない可能性があり、所有者は当該建築物を数年前購入し、2年前に店舗を改造、当初建築時点の確認申請については、分からないとの事であった。また処理水についても、排水処理の経路が不明であり、市は所有者に対し、建築基準法第12条第5項の規定に基づく報告を求めたところである。

質問 建築基準法第12条第5項の説明をお願いしたい。

答弁 島袋都市計画部長 違反の可能性がある建築物や工事中の建築物に対して、当該報告をまとめ、その中で不適合部分を明らかにし、改善を指導するものである。今回の事案も状況が不明であり、当該報告を求めたところであるが、依頼を受けた建築士が現況調査、図面作成、不適合の確認作業などを行い、それをとりまとめ、市に報告する事になる。

一 うるま市自主防災組織育成事業について



一 うるま市自主防災組織育成事業について
二 道路整備について
三 うるま市小・中学校特別支援学級への図書充実について
四 あげな中学校の施設管理について
五 川崎公園整備事業について

またよし のりひさ
又吉 法尚

質問 市として各自治会へのAED導入について、見解を伺う。

答弁 天願総務部長 コンビニへの設置は今後消防本部で調査、研究を進めていく。各自治会への設置は市民生活課で自治会への意向を調査した上で設置助成に向け、財源も含めて調整していく。

二 道路整備について

質問 キャンプマクトリアス正面ゲート前から具志川環状線に繋がる一直線道路整備が可能か。

答弁 久田建設部長 キャンプマクトリアスゲート前の住宅地域は道路も狭く、住宅も密集している。道路整備の必要性は認識。地元の協力があれば道路整備は可能で川崎ルーシー河線の事業進捗の状況を見極めながら、事業採択に向け検討していきたい。

質問 この部隊前地域の消防車両の通行の確保が厳しい場所での消化活動はどのように考えているのか。また訓練や現場確認等は認識しているのか伺う。

答弁 照屋消防長 この地域での訓練や現場確認等については、訓練は必要と考えており、地域の理解を得ながら検討していきたい。

三 うるま市小・中学校特別支援学級への図書の充実について

質問 PTA予算では、中々購入が出来ない大型絵本や立体的な絵本について、各特別支援学級へ配布出来ないか。

答弁 嘉手苅指導部長 各学校への希望調査に基づき県へ報告し、年度初めに配布

四 あげな中学校の施設管理について

質問 教科書については学校側から要望すれば必要数に応じて配布出来るという事で理解してよいか。

答弁 嘉手苅指導部長 教科書は年度末の希望調査により、各学校からの要望を教育委員会できりまとめ、県へ要求する事になっており、その時期にご要望があれば対処したい。

五 川崎公園整備事業について

質問 ベランダ手摺りの早急な補修工事について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 学校側と協議をして今年27日に実施する予定としている。

質問 夜間の警備会社の巡回強化について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 警備会社と巡回時間帯や巡回頻度の変更調整を図り、対策を講じていく。

六 東屋に電気配線の設置が出来ないか

質問 東屋に電気配線の設置が出来ないか。電気、電源配線を設置する事は厳しい状況。設置箇所は地元川崎区と調整をしていく。

質問 屋外ステージの照明スポットライトの設置について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 照明スポットライトや音響設備等の電源が確保できる様、電源ボックスを設置していく。スポットライトの設置は現在、沖繩防衛局と調整をしている。
※その他、川崎ルーシー河線道路改良事業について質問しました。



一 赤道小学校の全面改築について
 二 赤道幼稚園周辺の悪臭防止対策について
 三 公共施設へのAED設置について
 四 貧困世帯児童の無料学習支援について
 五 教育委員会制度改革について

なかほど 仲程
 たかし 孝

一 赤道小学校の全面改築について

質問 校舎の建築構造や機能、関連施設の子童に及ぼす問題を考慮した上で全面改築に関する所見を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 今後、事業化に向けて耐震診断結果も精査し、検討していきたい。

質問 全面改築の時期には赤道保育所跡地も一体的に活用すべきではないか。

答弁 赤嶺教育部長 公有財産主管課と調整を行いたい。

質問 合併特例債を活用しての校舎全面改築の可能性について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 現在合併特例債の期間延長もあり、財政当局と調整しながら利活用を検討したい。

二 赤道幼稚園周辺の悪臭防止対策について

質問 悪臭問題の抜本的な解決策として、豚舎を撤去し、公園等の公共施設を建設できないか。

答弁 島袋都市計画部長 今回、(仮称)米原緑地広場として整備、推進する。

質問 次年度以降の年次のなスケジュールなど方向性を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 平成27年度に本格的に事業がスタートできればと考えている。遊具やトイレの設置、芝生広場の整備等を想定している。

三 公共施設へのAED設置について

質問 本市の自治公民館等へのAED設置の可能性について伺う。

答弁 島袋市民部長 多くの人が集まる施設である事から、設置が望ましい

と考えている。器具のメンテナンスだけでなく、講習会など、設置した場合には果たすべき役割も当然大きくなり自治会の意向を踏まえ、設置を進めなければならぬ。

質問 確実な事業化に向けた今後の具体的な取り組み、予算計上等のスケジュールを伺う。

答弁 山城福祉部長 県自立支援プログラム策定実施推進事業の社会的居場所づくり支援事業へ補助申請を行っている。アンケート結果に基づき保護世帯の事業希望の最終確認を行うと共に実施を検討していく。

質問 貧困世帯を含めた学習支援として希望する自治会等がある場合、人材派遣や、あっせん等が可能か、所見を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 全児童生徒を対象とした学習支援が出来る様関係団体、自治会等の協力を得ながら人材バンクの充実と各学校区で必要に応じた学習支援活動が出来る様、取り組んでいきたい。

五 教育委員会制度改革について

質問 本市において予想される影響等について伺う。

答弁 赤嶺教育部長 政治的中立性、継続性、安定性が確保され、教育委員会が引き続き執行機関として位置づけられた事から、職務権限は従来通りに確保されるものと理解している。



一 学校給食センター行政について
 二 うるま市勝連B&G海洋センター管理について
 三 与那城陸上競技場の整備について
 四 琉球古典音楽、浜千鳥節について
 五 うるま市道与那城86号線について

なかほど 兼本
 みつはる 光治

一 学校給食センター行政について

質問 学校給食事業に取り組む中、過去学校給食費の見直しは国際情勢や消費税絡みの見直しが多かったと思うが、過去に学校給食費の見直しがあった年度、上がった金額、その経緯を伺う。

答弁 嘉手苧指導部長 本市の学校給食費の値上げは、平成21年4月に実施されている。値上げ額は、小学生が月額3千800円から4千円、中学生が月額4千300円から4千500円となった。平成17年の合併時には4市町協議の結果、小学生が月額3千800円、中学生が月額4千300円に統一された。

質問 今後の消費税に伴う学校給食の見直しについて見解を伺う。

答弁 嘉手苧指導部長 今年度について値上げは行わない。しかし更なる増税となった場合は検討しなければならぬと考えている。

二 うるま市勝連B&G海洋センター管理について

質問 現在のプール施設利用状況を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 平成25年度実績で、プール施設利用者2千79人となっている。

質問 今後、勝連B&G海洋センターのプール施設の在り方についてどの様に考えるか。

答弁 赤嶺教育部長 当該プールは地域の皆さんや、うるま市内他地区の保育園の利用もある。台風接近時を除き、夏休

み期間の利用者は増えていく傾向にある。今年度濾過機を整備し、水質が以前と比べて大きく向上しており、引き続き良好な施設維持に努めていきたい。

質問 第14回あやはしまラソン大会が開催され、年々増えるイベントやスポーツ大会に出入口ゲートの必要性が高いと考える。与那城陸上競技場北側に新たに出入口ゲートが設置出来ないか伺う。

答弁 赤嶺教育部長 与那城陸上競技場入口の拡充設置は今後、関係部署と調整を図り、検討したいと考えている。

三 与那城陸上競技場の整備について

質問 浜千鳥の歌碑周辺は整備が不十分で、雑草が生い茂り、浜千鳥の歌碑を拝む事が出来ない程、荒れ放題である。周辺管理整備について、当局の見解を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 自治会と連携をしながら、浜千鳥の歌碑と周辺の維持管理に努めていく。

四 琉球古典音楽、浜千鳥節について

質問 与那城陸上競技場から勝連庁舎付近を縦に通る市道86号線計画の進捗状況を伺う。

答弁 久田建設部長 基礎調査を実施し、事業化に向け概略設計を行うに当たり、想定されるルートを検討を行う基礎資料となる調査である。

五 うるま市道与那城86号線について

質問 与那城陸上競技場から勝連庁舎付近を縦に通る市道86号線計画の進捗状況を伺う。

答弁 久田建設部長 基礎調査を実施し、事業化に向け概略設計を行うに当たり、想定されるルートを検討を行う基礎資料となる調査である。



幸地 政和

- 一 防災行政について
- 二 福祉行政について
- 三 都市公園について
- 四 市営住宅について

一 防災行政について

質問 道路消火栓の設置基準と水道管の口径に差がある状況で、火災が発生した場合の影響は。

答弁 照屋消防長 当該消火栓に消防自動車のポンプを動作させた給水時では、周辺区域の水圧低下で水の供給能力が低下する。

質問 基準に合わない施設の改善計画は。

答弁 照屋消防長 水道部と連携し、基準に合致した配管に替えていく。

二 福祉行政について

質問 石川市社会福祉協議会施設の改修を目的にした基金制度があった。基金の残高について伺う。

答弁 山城福祉部長 平成15年度末の福祉基金額は4千7百万円余り、平成16年度に2千7百万円取り崩し、現在1千9百万円余り積み立てられている。

質問 この施設の今後の活用は。

答弁 山城福祉部長 当該施設は事故や防犯面から取り壊しが必要である。

質問 今後の土地利用計画及び建設計画は。

答弁 山城福祉部長 これまでの経緯や地域における福祉の拠点を勘案し、施設の跡利用計画を積極的に考えていきたい。

三 都市公園について

質問 公園内の防犯カメラの設置について伺う。

答弁 島袋都市計画部長 不法投棄、器物破損行為等の犯罪防止効果が期待。今後検討していきたい。

設置、復旧について伺う。

質問 島袋都市計画部長 利用者に迷惑をかけている。速やかな復旧をしていきたい。

質問 東山第3公園の防犯灯の点灯方針は。

答弁 島袋都市計画部長 周りが暗くなると感知器が反応し、点灯する。雨天時はブレーカーが落ちるので、電気設備業者に依頼して改善する。

質問 渡口児童公園の防犯灯等の維持管理は。

答弁 島袋都市計画部長 防犯灯の復旧に努め、トイレ再開は今後検討、フェンスは速やかに修繕していく。

質問 安全安心の児童公園に戻す為、施設の現状回復の方策を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 今後予算措置を行い、公園機能の回復を図り、良好な公園管理に努める。

四 市営住宅について

質問 東山市営住宅の照明灯の点灯状況は。

答弁 久田建設部長 屋外照明灯、街灯が21基設置、半分以上が点灯しない日がある。現在ブレーカーが落ちる不具合を再調査している。

質問 地域の事件、事故を防止する上からも照明の点灯は365日点灯する事は当然である。今後の対策は。

答弁 久田建設部長 安全で住みよい住環境整備は行政の責務である。課題解決を図る為、今後市や団地自治会及び入居者との意見交換会等を実施していく。



伊盛 サチ子

- 一 うるま市公共施設マネジメント計画より
- 二 沖縄県住宅リフォーム市町村助成支援事業を活用しての本市リフォーム事業の拡充について
- 三 オール沖縄の立場で建白書を堅持していく姿勢について再度市長の見解を伺う。

一 うるま市公共施設マネジメント計画より

質問 庁舎跡利用計画に、支所機能を残す記述がない。窓口機能との関連性を伺う。

答弁 天願総務部長 庁舎全体を使用するに有効的、効率的な運用形態を想定。各地域での市民意見等、また将来における周辺施設と一体的利活用の可能性も記述されており、統合庁舎完成後の支所機能の存続は、地域窓口として検討している。

二 沖縄県住宅リフォーム市町村助成支援事業を活用しての本市リフォーム事業の拡充について

質問 住宅リフォーム支援事業の拡充について伺う。

答弁 上間経済部参事 商工業者やリフォーム関連業者に調査を行い、地域経済団体、中小企業振興審議会の意見を聞き、事業の成果を整理した後、次年度以降の継続、改善等を検討し、拡充については、それらを踏まえ、総合的に判断していく。

三 オール沖縄の立場で建白書を堅持していく姿勢について再度市長の見解を伺う。

質問 ①集団的自衛権の行使容認について、市長の見解を求め。

答弁 島袋市長 最高機関である日本国憲法は、主権在民を基軸とし、生存権に関わる最重要案件について、国民不在の協議との指摘の中、時の政権

二 オール沖縄の立場で建白書を堅持していく姿勢について

にくみする一党一派のみで拙速な解釈改憲協議が推し進められている事に対し、危惧している。憲法改正の手法は国民世論の醸成した上で国民投票に付されるに値する最重要案件と認識。行使容認された場合、基地が集中する沖縄は交戦国とみなされ、攻撃の対象になる可能性が高く、県民は新たな不安を抱え込む。有事の際に標的となり得る重油施設が数多く存在する事から、甚大な住民への被害が想定される。集団的自衛権の行使は容認すべきでない。市民を守る責任を負う市長として、この様に思っている。

質問 ②オール沖縄の立場で建白書を堅持していく姿勢について、市長の見解を伺う。

答弁 島袋市長 連帯決議条項の一つであるオスプレイ配備計画の撤回は、強行配備された事により、その願意は失効したものと理解している。平成24年9月9日の県民大会から現在まで、基地問題を取り巻く環境は、県民大会の構成団体の認識の変化等、県内の各自治体、各機関、団体の立場から熟議を尽くして判断されるものと思っており、オール沖縄の立場は総理への手交をもって、その使命は完結したものと理解している。

※他に「消費税関係について」「各庁舎での期日前投票の実施について」質問しました。



一 諸事業の進捗状況について
二 危険箇所の取り組み状況について

おくだ おさむ
奥田 修

一 諸事業の進捗状況について

質問 学校跡地跡施設活用方針と事業実施計画について。

答弁 喜納企画部長 素案がまとまり次第、調整協議を行い、地域への説明、了承を得て成案とし、来年度実施計画に反映させたい。

質問 比嘉小学校施設について、精神的な障がいを持った方々の就労訓練、支援として活用したい旨の申し出について。

答弁 喜納企画部長 十分検討価値がある。

質問 平安座区内コミュニティ防災センター長寿命化改修工事の着手時期について。

答弁 天願総務部長 入札及び契約事務等は8月1日以降、工期は8月中旬～11月中旬の約3か月。

質問 市道与那城18号線道路整備と冠水対策について。

答弁 久田建設部長 平成27年度新規事業採択となる様、県に強く要望したい。冠水対応は25年度の繰越事業と26年度地方改善事業で整備予定。

質問 浜区市道勝連6-4号線道路整備について。

答弁 久田建設部長 平成25年度に概略設計、事業化に向け実施計画に要望していききたい。

質問 彩橋小中学校グラウンド整備について。

答弁 赤嶺教育部長 市道18号線の拡幅計画の動向を注視し、実施計画に取り組みたい。

平安座区内下水道整備について。

答弁 三浦水道部長 県の認可取得後、基本設計に取り組み、地元自治会と調整し、予算計上を図っていききたい。

質問 金武湾港平安座南港の多目的広場野外ステージの屋根整備進捗について。

答弁 久田建設部長 県港湾課に確認、平成27年度一括交付金事業で整備要請している。

質問 市道100号線一方通行方向変更について。

答弁 島袋市民部長 警察本部では平安座区全域の交通標識の見直しを検討時間を要するとの事。

質問 マーラン船等復元活用事業における新造船の活用と、あやはし館マーラン船建物に帆を設置する取り組みについて。

答弁 赤嶺教育部長 企画展の開催、名称の募集、進水式、乗船体験を予定。地域ブランドとして利活用出来るものと期待。

答弁 上間経済部長 平成27年度以降の実施に向け、内容を整理したい。

二 危険箇所の取り組み状況について

質問 与那城饒辺1492の1番地一帯の急斜面の現場をどの様に認識し、対応策に取り組んでいるか。

答弁 久田建設部長 岩は地権者の土地に入っていると判断。個人で安全対策を行うべきと考えている。

質問 双方の見解が異なっているが。

答弁 久田建設部長 電話での対応等であり、地権者や測量事務所、市の三者立会いのもと現状を確認し、話し合いを持ちたい。



一 うるま市公共施設等マネジメント計画について
二 うるま市公共施設等マネジメント計画において高齢化社会における地域ネットワーク事業と認知症高齢者への対応支援について
三 学校教育において、うるま市の歴史、文化、伝統芸能、地域活動等をどのように教育しているかについて
四 水産業栽培漁業・養殖漁業の現状と課題、支援について
五 指定管理者制度の在り方と行政委員候補者の推薦、任命について
佐久田 悟

一 うるま市公共施設等マネジメント計画について

質問 市公共マネジメント計画、今後の計画と取り組みについて。

答弁 天願総務部長 計画の推進を担う担当部署を決定し、マネジメント推進委員会を立ち上げ、施設案件ごとに検討していく。

質問 新しく建設される生涯学習センターに防音設備のある音楽室も必要だと考えるが。

答弁 赤嶺教育部長 音楽室が4室配置され、大音楽室と小音楽室の2室は完全防音構造でレコーディング可能。市民や若者の音楽活動に大いに活用頂ける。

二 高齢化社会における地域ネットワーク事業と認知症高齢者への対応、支援について

質問 小規模多機能型介護事業所、与勝地区への設置取り組みについて。

答弁 山城福祉部長 要介護認定者数並びに介護サービス給付費等の分析を行い、事業所配置を図っていききたい。

質問 認知症高齢者への地域での見守り取り組みについて。

答弁 山城福祉部長 社協や各地域見守り隊と連携し、ネットワークづくりの支援方法を協議している。

質問 地域包括支援センターの課題取り組みについて。

答弁 山城福祉部長 業務内容の見直し、効果的な運営、人員体制等、機能強化に努める必要がある。

三 学校教育において、うるま市の歴史、文化、伝統芸能、地域活動等をどのように教育しているかについて

質問 学校教育だけでなく、地域活動やボランティア活動、市子ども会育成連絡協議会への行政支援も重要だと考えるが、取り組みを伺う。

答弁 赤嶺教育部長 子ども会活動は人材育成の観点でも大切で、行政、学校、自治会連携で魅力ある会活動に向けた周知活動や加入促進を図り、活性化に取り組んでいききたい。

四 水産業栽培漁業・養殖漁業の現状と課題、支援について

質問 与勝地域沿岸海域での養殖漁業や栽培漁業にもっと力を入れていく事も重要だと考えるが、現状と課題について。

答弁 上間経済部長 今後、漁業協同組合から聞き取り等で課題を把握し、事業の可能性について検討したい。またもすぐ養殖は市場取引価格の変動で価格が不安定という課題があり、養殖魚種はえさの高騰、いけすの台風等による被害等の問題がある。

質問 漁師の方々が漁業で生活している為の基盤整備支援として、一括交付金の活用等行政支援が出来ないか。

答弁 上間経済部長 一括交付金の活用は、採択要件を踏まえて検討していく。各漁業協同組合と連携を図り、施設整備等、水産振興に努めていきたい。

五 指定管理者制度の在り方と行政委員候補者の推薦、任命について

質問 指定管理各施設の運営状況について。

答弁 山城福祉部長 施設の役割や効率的な運営の検証に努め、市民の利便性に応じていきたい。



なかむら まさと
中村 正人

- 一 経済対策について
- 二 保育業務環境について
- 三 教育環境について
- 四 まちづくりについて

一 経済対策について

質問 国際物流特区拡大について、うるま市の考え方及び影響について。

答弁 上間経済部長 国際物流拠点産業集積計画の中で新たに5市の全域指定、中城湾港新港地区全域が指定拡大の予定。名護市は新たに4産業を加え、経済金融活性化特区が改正される。中城湾港新港地区に誘致する必要性の高い物流センター等が5市へ立地する可能性も高い事、製造業の本社機能が5市へ移転立地する可能性が高い事が想定。中部の均衡ある発展の観点から国県等へ要請、調整を行いたい。

二 保育業務環境について

質問 保育士等処遇改善臨時特例事業について。

答弁 山城福祉部長 保育士等の確保や人材確保の一環で、保育所運営費の民間施設給与改善費を基礎に私立保育園・所に交付する事業。予算は約5千3百万円で法人26カ所、臨時職員に係る人件費等に支出。

三 教育環境について

質問 中部農林高校生介護取得について、現状と中身を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 現在は介護職員初任者研修をはじめ6つの資格が取得でき、県内トップクラスである。

質問 中部農林高校では介護関係の資格取得カリキュラムが無くなった。県内で行っている高校は。

答弁 赤嶺教育部長 現在、真和志高校のみが受験資格取得が出来る高校との事。

質問 子供達と頑張れる教育環境を目指すという事からも、あらゆる機会ですら県へ申し上げられないか。

答弁 赤嶺教育部長 中部農林高校では、既に多様化するニーズに応えるべく課題を精査し、検討しているとの事。

質問 ユニバーサルスタジオパークのうるま市誘致について。

答弁 喜納企画部長 本市の観光振興やまちづくりの観点でユニバーサルスタジオジャパンの関係者へ必要な情報等を収集していきたい。

質問 耐震度結果は。

答弁 赤嶺教育部長 建物の構造的な耐震性能を評価する指標I-S値は0.727。

質問 改築改修工事の計画は。

答弁 赤嶺教育部長 今後、耐震診断結果を精査、関係機関と調整し、整備手法の検討に向け取り組んでいきたい。



みやげ たかのり
宮屋武 力

- 一 中原小学校幼稚園改築工事について
- 二 うるま市内中学校運営と生徒指導について
- 三 海中道路ライトアップ事業について
- 四 宮里区県道16号線沿い381番地の地滑りについて
- 五 宮里区内道路拡張工事について
- 六 うまんちゅ文化健康スポーツ広場の工事の遅れについて
- 七 宮里児童公園について

一 中原小学校幼稚園改築工事について

質問 耐震度結果は。

答弁 赤嶺教育部長 建物の構造的な耐震性能を評価する指標I-S値は0.727。

質問 改築改修工事の計画は。

答弁 赤嶺教育部長 今後、耐震診断結果を精査、関係機関と調整し、整備手法の検討に向け取り組んでいきたい。

二 うるま市内中学校運営と生徒指導について

質問 スクールサポーター、いきいきサポーター相談員、青少年相談員のそれぞれの役割は。

答弁 嘉手苺指導部長 スクールサポーターは学校と警察を繋ぐ役割で、非行少年の居場所づくり等。いきいきサポーター相談員は遊び非行型の問題行動への早期発見、未然防止。青少年相談員は気になる生徒の登校支援。

質問 学校の支援会議に参加者を募り、問題行動のある生徒の為に学校、地域、警察が一体となり、見直すべき事があると思うが。

答弁 嘉手苺指導部長 各中学校支援員の勤務体制を工夫し、中学校区生徒指導連絡協議会への参加が出来る様に助言していきたい。

三 海中道路ライトアップ事業について

質問 ライトアップ事業の経済効果は。

答弁 喜納企画部長 観光客を引き留める為に定期的なイベントの開催や、屋台村等の仕掛けづくりが必要。

質問 事業に必要な電気容量は80%しか補えないと聞いたが。

答弁 喜納企画部長 再生エネルギー風力発電は2基設置。必要な電力の殆どは風力発電。風が吹かない時は20%、30%程度は沖縄電力からの供給を受ける必要がある。

四 宮里区県道16号線沿い381番地の地滑りについて

質問 当局へ廃棄物申請がなされ、現場の確認をし、承認したのか。

答弁 三浦水道部長 担当者が現場へ出向いて確認。

質問 その様な事故に対し、業者への指導は。

答弁 三浦水道部長 業者へ誠意を持って解決に当たる様、注意喚起をした。

五 宮里区内道路拡張工事について

質問 市道認定を行い、大型バスが通れる様に検討するとの事であったが。

答弁 久田建設部長 平成27年度以降、国土交通省の補助事業採択に向け、県と調整したい。

六 うまんちゅ文化健康スポーツ広場の工事工期の遅れについて

質問 工事の遅れ、宮里区民は待ちわびているが。

答弁 島袋都市計画部長 晴れた日の煤塵や雨天が続き、工期内完了が出来ず、適正な工期を組直し7月下旬までには完成させたい。

質問 供用開始はいつ頃か。

答弁 島袋都市計画部長 8月下旬頃供用開始したい。

七 宮里児童公園について

質問 3分の1が手つかずのまま45年経過、以前、平成25年度予算で対応とあったが。

答弁 島袋都市計画部長 市民アンケートや住民説明会を行う為、本年度へ繰り越した。

質問 地主との用地買収の話は。

答弁 島袋都市計画部長 同児童公園の未整備区域は、公園整備プログラム策定を行い、整備の必要性も含め検討していく。



一 江洲自治会市道交差点整備について
二 歩道整備について

たかえす
高江洲 賢治
けんじ

一 江洲自治会市道交差点整備について

質問 江洲自治会内の市道交差点での交通事故が多くなってきたという、交差点の停止線、道路標識、カーブミラーを設置が出来ないか伺う。

答弁 島袋市民部長 江洲土地区画整理地内の道路は、平成22年4月に江洲土地区画整理組合より、市に引き継がれ、また江洲第二土地区画整理地内の道路も平成25年7月に市に引き継がれ、市道となっている。交通規制を図る停止線や道路標識などは県道、市道に関わらず沖縄県警察本部の許可のもと、公安委員会により設置される。今後も江洲自治会やうるま警察とともに連携し、設置要請をしていきたい。またカーブミラーについては、市での設置になるので、地域の要請に基づき、現場を確認すると共に必要性を判断し対応していきたい。

二 歩道整備について

質問 県道85号線、沖縄電力からメイクマン向け江洲541番地付近の歩道が水浸しで、歩行者が転んでケガをしたそうだが、その歩道整備について伺う。

久田建設部長 当該箇所は

県道85号線、沖縄環状線の沖縄電力うるま支店方面からメイクマン具志川方面へ向かい、左側の歩道であり、市の担当者の方で現場確認をしたところ、区画整理事業で整地された隣接地の民地から雨水や土砂が流れて、歩道が滑りやすい状態にあったので、県中部土木事務所へ連絡を行い、安全対策の為にカラーコーンの設置を行い、歩道清掃は県の方で行うとの事であった。

質問 歩道整備について、県道85号線沖縄環状線は多くの市民が朝、ウォーキングやジョギングをする人が多く、子供達の通学路にもなっており、歩道がずっと水浸し状態であるので、何らかの整備方法はないか伺う。

答弁 久田建設部長 歩道が濡れているという事について、県としては歩道の整備は非常に厳しいという事で、本来歩道に流れ込む土砂や雨水の対策は、その地権者が行うべきという事で、地権者の方に対策を指導していきたいという事であった。



一 うるま市公共施設等マネジメント計画について
二 うるま市学校適正配置に関する基礎調査報告書について
三 密集地域や遊休地の開発について

ながたまえ
永玉 榮 靖
やすし

一 うるま市公共施設等マネジメント計画について

質問 各地域における市民サービス窓口は自動交付機設置のみで、市民に対するサービスが十分でないのか。

答弁 天願総務部長 平成26年、市民課窓口の一本化を試行し、業務方法等を選択、検討する予定。職員の配置は当分の間現在の体制を考えている。

質問 屋慶名児童館は中長期で児童館機能を備える自治公民館として転換とあるが、内容説明を。

答弁 山城福祉部長 児童館機能を備えた自治公民館として整備。整備後の管理運営は自治会が行う事が基本。運営のあり方は地域の状況を踏まえ、協議が必要。

質問 与那城地区公民館は老朽化の為に処分し、周辺の公共施設へ機能転換とあるが、どこへ移転か、実施計画を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 関連施設の状態も見極めた上で検討、実施計画や予算措置について、現時点では時期を示す事が出来ない。

質問 東海岸開発基本構想について、ジャネー洞周辺の歴史観光公園整備とされているが、計画はしても実施計画に移さないといけない。見解を伺う。

答弁 喜納企画部長 平成23年3月に策定、誇り高き神秘の島敷地、島内を通る市道与那城17号線筆界未定地5ブロックの解消やマリーン船の復元事業

二 うるま市学校適正配置に関する基礎調査報告書について

等、平成29年度から工事に着手するというスケジュールで実施計画に位置付けされると考えている。

質問 平成17年度から26年度まで、合併2市2町の配分額は具志川1百85億円、石川地区76億円、与那城地区20億円、勝連地区40億円の状況。均衡ある発展を約束した合併協議事項だったと思うが、見解を伺う。

答弁 喜納企画部長 合併協定書について、これまでもお答えしているが、本格的には紳士協定であり、法律事項ではないと理解し、実施可能な事案から取り組んでいる。

三 密集地域や遊休地の開発について

質問 勝連小学校区及び与那城小学校区を勝連第二中学校へ通学区域を見直すところがあるが、児童生徒、父母への話し合いはされたか。

答弁 嘉手苅指導部長 内間区、屋慶名区については、今年度中に地域住民意見交換会の開催を予定している。

三 密集地域や遊休地の開発について

質問 担当部長も自治会長と現地を調査し、開発に向けて行政指導をしながら取り組んで頂きたいが。

答弁 島袋都市計画部長 屋慶名東地区については、地元自治会と一緒に現地を見たいと思う。



平良 榮順

- 一 道路行政について
- 二 河川整備について
- 三 畜産振興について
- 四 固定資産税徴収について

一 道路行政について

質問 みどり町県道75号線沿い街路樹の樹種変更について。

答弁 久田建設部長 街路樹は沖縄県道路緑化基本計画に基づき樹種選定。変更は大変厳しいが、再度検討する様、地域と共に要望していく。

質問 県道75号線通学路歩道 特定防衛施設周辺整備調整交付金による街灯の整備について。

答弁 島袋市民部長 特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用は可能と伺っている。

答弁 久田建設部長 歩道整備は樹種変更と併せ(3月6日)中部土木事務所に要請している。

質問 対応可能との事なので、県道75号線通学路歩道に街灯の設置をお願いしたいが。

答弁 島袋市民部長 当該交付金事業の活用については、他事業との整合性も見極め検討する。

質問 宇堅810番地前市道宇堅2001号線道路雨水排水整備について。

答弁 久田建設部長 既設側溝をグレーチング側溝に敷設替えをする。

二 河川整備について
質問 キャンプ・コート二一内、天願川管理道路の整備について。

答弁 久田建設部長 米軍側からセキユリティーの確保に疑義との事だが、今後県と連携し関係機関と調整していく。

三 畜産振興について
質問 肉用牛生産拡大強化事業について。

答弁 上間経済部長 黒毛和種、繁殖雌牛を導入、生産農家へ優良牛を普及する事業。補助金交付団体はJA等で希望農家はそこへ借入手続し、団体で取りまとめ市に交付申請する。農家は補助金交付団体から優良雌牛を借り受け、6年間は飼養管理義務がある。補助金の額は、1頭当たり上限30万円。

質問 牛糞の処理対策について。

答弁 上間経済部長 事業の導入等検討を進めているが、具体化していない。

質問 堆肥還元システムの事業化について。

答弁 上間経済部長 事業化に向け、現況調査を行い、事業の導入の可能性を検証、本年度中に調査業務が出来ないか検討中。殆どの家畜排せつ物を回収し、処理する様な効果的なシステムを構築する計画。

四 固定資産税徴収について
質問 共有地の固定資産税徴収方法について。

答弁 天願総務部長 共有代表者に納付書を送り、他の連帯納税義務者に徴収金の通知を行っている。

質問 納税者からの按分による納付書送付申し出への対応について。

答弁 天願総務部長 共有持ち分に応じ、按分計算を行い、納付書を再発行している。

質問 一回の按分納付申し入れで継続して出来ないか。

答弁 天願総務部長 法に基づかない按分納付を通常行う事は適切でないと考ええる。

一 地域振興策について

質問 県内で花祭りを実施している市町村とその成果について伺う。

答弁 上間経済部長 ひまわりin北中城8万1千6百80人、今帰仁グスク桜まつり3万7千7百16人、伊江島ゆり祭り3万1千人で、いずれも観光振興や地域活性化への波及効果が大きいイベントである。

質問 世界遺産の勝連城跡と今帰仁城跡の入場者数を伺う。

答弁 上間経済部長 勝連城跡14万1千4百30人、今帰仁城跡25万3千8百66人である。

質問 アマリリス、サンダンカ祭りを市で実施できないか。また勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画で花を題材にした公園整備ができないか。

答弁 島袋都市計画部長 本計画の内容は、博物館や広場等の整備となっており、概算事業費は約48億円で平成32年度の完了を目指す。

質問 石川イベント公園機能強化事業が予算化されている。その事業概要を伺う。

答弁 上間経済部長 一括交付金を活用し4年程度で整備する事業で、499台の駐車場の確保と緑地広場、花木園を設置する予定。

質問 勝連城跡に提案したようにアマリリスやサンダンカをこの計画に

- 一 地域振興策について
- 二 教育行政について



徳田 政信

組み入れることができないか。

答弁 上間経済部長 一年を通して花が楽しめる花見の森の整備を予定しており、議員の貴重な提言として今後の計画の中で検討したい。

二 教育行政について
質問 学校適正配置について、通学区域に関する検討校区を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 南原小学校と高江洲小学校、あげな中学校と伊波中学校、与勝第二中学校と与勝中学校が通学区域の見直しと弾力化が提言されている。

質問 南原小学校と高江洲小学校は適正規模か。

答弁 嘉手苅指導部長 両小学校とも適正規模の学校である。

質問 川田区での地域懇談会の内容を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 川田区としては、通学区域の変更には断固反対で、現行の通学区域の継続を要望するとした内容である。

質問 通学区域を変更するのはいか

がなものか。

答弁 嘉手苅指導部長 川田区の通学区域の見直しと弾力化については、地域の意向を尊重した取り組みを進めたい。

平成26年6月 第86回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第 5 号	平成25年度うるま市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	市 長	6月16日	報 告
報告第 6 号	平成25年度うるま市公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	〃	〃	〃
報告第 7 号	平成25年度うるま市土地開発公社事業報告及び決算報告について	〃	〃	〃
報告第 8 号	平成26年度うるま市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について	〃	〃	〃
報告第 9 号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第 10 号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第 11 号	専決処分の報告について(車両事故)	〃	〃	〃
報告第 12 号	専決処分の報告について(道路損害賠償請求事件)	〃	〃	〃
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	7月 2日	適 任
議案第 36 号	平成26年度うるま市一般会計補正予算(第1号) (補正額:918,210千円 補正後予算:53,380,744千円)	〃	6月20日	原案可決
議案第 37 号	平成26年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第1号) (補正額:5,873千円 補正後予算:8,721,260千円)	〃	7月 2日	〃
議案第 38 号	平成26年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (補正額:8,537千円 補正後予算20,188,206千円)	〃	〃	〃
議案第 39 号	うるま市固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃	同 意
議案第 40 号	あらたに生じた土地の確認について(平敷屋漁港) (公有水面埋立竣功認可による土地 2,168.88㎡の確認)	〃	〃	原案可決
議案第 41 号	字の区域の変更について(平敷屋漁港) (公有水面埋立竣功認可による土地 2,168.88㎡を勝連平敷屋へ編入)	〃	〃	〃
議案第 42 号	浜漁港区域内公有水面埋立について	〃	〃	〃
議案第 43 号	うるま市市道路線の認定について	〃	〃	〃
議案第 44 号	天願小学校屋内運動場増改築工事(建築)請負契約について (契約金額:381,780,000円)	〃	〃	〃
議案第 45 号	天願幼稚園増改築工事(建築)請負契約について (契約金額:194,572,800円)	〃	〃	〃
議案第 46 号	勝連幼稚園増改築工事(建築)請負契約について (契約金額:166,417,200円)	〃	〃	〃
議案第 47 号	うるま市火災予防条例の一部を改正する条例 (火災予防上必要な業務等を義務付け、市内で開催されるイベントが安全で安心に開催できるようにするための条例改正)	〃	〃	〃
議案第 48 号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 (「うるま市統合庁舎建設委員会」、「うるま市庁舎基本設計者選定プロポーザル審査委員会」及び「うるま市公共施設等のあり方検討委員会」の業務終了に伴う廃止及び「うるま市立学校給食センター基本計画策定委員会」設置のための条例改正)	〃	〃	〃
議案第 49 号	指定管理者の指定について(うるま市屋慶名児童館)	〃	6月20日	〃
議案第 50 号	物品の取得について(高規格救急自動車)(契約金額:19,980,000円)	〃	7月 2日	〃
発議第 5 号	最低制限価格割合の引き上げを求める要請決議	金城勝正議員他7人	〃	〃

平成26年8月 第87回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
発議第 6 号	天願川河川改修事業の早期整備に関する意見書	金城勝正議員他7名	8月 6日	原案可決

平成25年度 政務活動費の内訳

政務活動費(政務調査費→政務活動費:平成25年3月1日名称等変更)

政務活動費とは

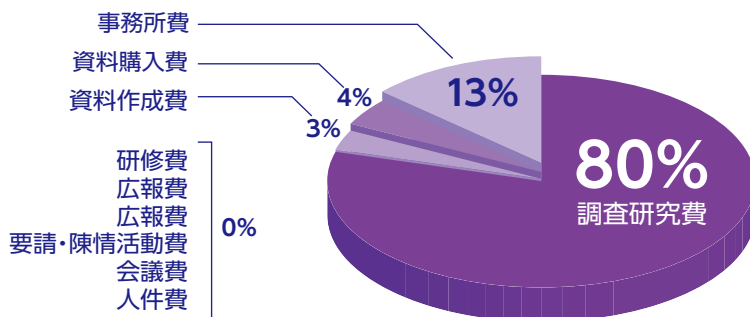
政務活動費とは、地方自治法第100条第14項、第15項及び第16項の規定に基づき、議会の活性化や議員の政策形成能力等の向上や市政に関する調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されているものです。

うるま市では、「うるま市議会政務活動費の交付に関する条例」・「うるま市議会政務活動費の交付に関する規則」(例規検索可)に基づき、会派又は無所属議員に対し、一人当たり月額2万円を交付しています。

また、政務活動費の用途基準を定め、領収書等の証拠書類の写しを添えた収支報告書の提出を義務付け、透明性を高めるとともに、情報公開にも対応しています。

政務活動費

項目	金額	構成比
調査研究費	5,677,210	79.5%
研修費	920	0.0%
広報費	900	0.0%
広報費	2,540	0.0%
要請・陳情活動費	0	0.0%
会議費	0	0.0%
資料作成費	222,144	3.1%
資料購入費	304,885	4.3%
人件費	0	0.0%
事務所費	932,414	13.1%
合計	7,141,013	100.0%



主な調査・研修状況(期日順)

会派名(参加人数)	場所	期日	目的
新政クラブ(9人)	高知県馬路村、梶原村、愛媛県内子町、松山市、新居浜市	H26.1/20~23	○企業誘致に関する取り組みについて ○要請活動 【・沖縄振興特別推進交付金の基金化について・沖縄科学技術大学院大学周辺におけるリサーチパーク等の整備及び産業集積エリア拡充について・特定防衛施設周辺整備調整交付金の激減緩和策について】
新政クラブ(10人)	秋田県教育庁、岩手県盛岡市、宮城県栗駒市	H26.3/25~27	○特別養護老人ホーム「サンフレンズ」のはやめ南人情ネットワーク取り組みについて ○道の駅「萩しーまーと」の取り組みについて
いぶきの会(7人)	秋田県教育庁、岩手県盛岡市、宮城県栗駒市	H25.5/14~17	○教職員多忙化防止対策について ○義務教育における学力向上対策について ○盛岡ブランド推進計画について ○都市景観計画について ○花と緑のガーデン都市づくりについて ○くりこま高原自然学校視察
いぶきの会(8人)	福井県教育庁、石川県七尾市、小松市	H25.10/21~24	○義務教育における学力向上対策について ○合宿など誘致事業について ○環境王国小松プロジェクトについて ○歌舞伎によるまちおこしについて
いぶきの会(1人)	宜野座村、伊江村	H25.11/18~19	○オスプレイ配備について
いぶきの会(8人)	竹富町、石垣市	H26.2/17~18	○観光振興について ○「すぐやる課」について
かけはし(6人)	東京都消防庁本所都民防災センター、厚生労働省、内閣府	H25.11/18~20	○都民防災センター施設見学及び地震・都市型水害の体験 ○道州制、合併特例債について ○子ども・子育て支援新制度、社会保障・税番号制度について
	福岡県八女市、佐賀県武雄市	H26.1/21~24	○食料・農業農村基本計画について ○武雄図書館について
	防衛省、文部科学省	H26.3/24~26	○航空機騒音による環境基準の見直しについて ○特定防衛施設周辺整備調整交付金激変緩和策について ○教育委員会改革について ○教育施設改修事業について
21世紀の会(4人)	北海道旭川市、滝川市	H25.5/28~31	○「ほのぼの防火訪問」事業について ○心の教育推進事業について
21世紀の会(3人)	宮城県大崎市、気仙沼市	H25.8/28~31	○ステップアップ・チャレンジ事業交付金事業について ○食を活かしたまちづくりについて
公明・市民会議(3人)	高知県馬路村、梶原村、愛媛県内子町、松山市、新居浜市	H25.10/22~25	○ゆずの加工品によるまちおこし事業について ○小水力発電の取り組みについて ○特産物直売所について ○福祉総合窓口について ○塩田の歴史について
	大分県豊後高田市、宮城県木城町、熊本県熊本市	H26.2/11~14	○教育事業「学びの21世紀塾」について ○地域による学校支援活動について ○南部浄化センター「下水汚泥固形燃料化施設」について

最低制限価格割合の引き上げを求める要請決議

現在うるま市では、建設工事に係る競争入札を執行する際に設ける最低制限価格を、予定価格の10分の7から10分の9の範囲で定めている。

この最低制限価格は沖縄県が設定した範囲に準じているとのことであるが、市町村民所得が県内41市町村中38位、県内11市の中で最下位であるうるま市が、最低制限価格を沖縄県に準じて設定していることには検討の余地がある。

沖縄県内においては、今年度より中城村で最低制限価格の上限を90パーセントから95パーセントに見直しており、他都道府県等においてもすでにこうした最低制限価格の割合を引き上げる動きがみられる。

建設工事を担う人材の不足や資材の高騰などが一因となったうるま市統合庁舎建設の入札不落からもわかるように、現場で働く専門技術者や労働者の確保及び離職率の増加等、建設業界を取り巻く労働環境は依然として厳しい現状である。

また、行き過ぎた価格競争は公共工事の品質確保に支障を及ぼすのみならず、下請業者へのしわ寄せや安全対策の不徹底などにつながりやすく、市民の安全、安心の確保や建設業界の健全な発展を妨げるおそれがある。

よって、個々の契約の内容に適合した公共工事の品質を確保する観点及び本市の建設業等を取り巻く環境が極めて厳しい状況にあることに鑑み、こうした業界が地域の雇用を確保し、地域産業の中核として持続的に発展することができるよう適正価格の入札を推進すべく、最低制限価格割合の引き上げを行うよう、強く要請する。

以上、決議する。

平成26年7月2日
沖縄県うるま市議会

あて先
うるま市長

議会事務局からのお知らせ

平成25年6月定例会から市民への情報提供及び利便性の向上を図るため、インターネットによる録画中継を実施しておりますので、お知らせ致します。

なお録画中継の配信は、当該本会議終了後1週間以内に配信する予定です。



うるま市議会、天願川河川の早期整備を要請



平成26年8月6日(水)第87回うるま市議会臨時会において、「天願川河川改修事業の早期整備に関する意見書」を全会一致で可決しました。その後、正副議長、建設委員会、地元議員が沖縄県土木建築部(部長 當銘健一郎)を訪ね、意見書を手交し、整備の遅れている天願川上流部や天願橋付近の早期整備を要請しました。

天願川河川改修事業の早期整備に関する意見書

天願川の氾濫被害を防止するため、県当局はこれまで長年にわたり河川改修事業を進め、河道拡幅や護岸整備を行っているが、整備の遅れている天願川上流部や天願橋付近については、依然として台風や集中豪雨によって河川が氾濫し、住宅等に甚大な被害を及ぼしている。

去る7月8日に襲来した台風8号通過後の豪雨の際にも、家屋の床上浸水24件、水没車両27台の被害が発生する等、その状況は実に惨たんたるものであった。

このように不安な状況の中、今後も発生が想定される洪水から天願川流域に住む住民を守り、安全で安心して住める生活基盤を構築していくことは、河川管理者である県が最も優先して取り組まなければならない責務である。

天願川水系では過去にも幾度となく浸水被害が発生しており、平成13年9月の台風16号の大雨では、上流部で29戸、川崎川で29戸の床上浸水被害があった。それに対して当時の具志川市議会より平成13年9月25日に「天願川・川崎川の早期整備に関する意見書」を沖縄県知事宛てに提出しているが、今回の被害箇所が平成13年に起きた被害箇所とほとんど同じであり、これまで行ってきた天願川河川改修事業では、度重なる集中豪雨等に対応できていない。特に今回被害の大きかった天願川上流部及び天願橋付近については、早期整備が必要である。

よって、うるま市議会は、市民の生命と財産を守る立場から市民が安心して暮らせるよう、河川管理の責任者である県当局において、天願川河川改修事業の早期整備を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年8月6日

うるま市議会

あて先
沖縄県知事 宛